

## CS こひつじ科礼拝式次第

2022年12月25日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」  
テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

### 17. そらにひびくかねが（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ ルカによる福音書2章22～35節

『さて、モーセの律法に定められた彼らの清めの期間が過ぎたとき、両親はその子を主に献げるため、エルサレムに連れて行った。それは主の律法に、「初めて生まれる男子は皆、主のために聖別される」と書いてあるからである。また、主の律法に言われているとおりに、山鳩一つがいか、家鳩の雛二羽をいけにえとして献げるためであった

そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい人で信仰があつく、イスラエルの慰められるのを待ち望み、聖霊が彼にとどまっていた。そして、主が遣わすメシアに会うまでは決して死なない、とのお告げを聖霊から受けていた。シメオンが“霊”に導かれて神殿の境内に入って来たとき、両親は幼子のために律法の規定どおりにいけにえを献げようとして、イエスを連れて来た。シメオンは幼子を腕に抱き、神をたたえて言った。

「主よ、今こそあなたは、お言葉どおり  
この僕を安らかに去らせてくださいます。  
わたしはこの目であなたの救いを見たからです。  
これは万民のために整えてくださった救いで、  
異邦人を照らす啓示の光、  
あなたの民イスラエルの誉れです。」

父と母は、幼子についてこのように言われたことに驚いていた。シメオンは彼らを祝福し、母親のマリアに言った。「御覧なさい。この子はイスラエルの多くの人を倒したり立ち上がらせたりするために定められ、また、反対を受けるしるしとして定められています。——あなた自身も剣で心を刺し貫かれます——多くの人の心にある思いがあらわにされるためです。』

おはなしとおいのり 「何にも代えることができない 喜び」 大日南隆夫先生

皆さんおはようございます。  
先週はクリスマスのお話で、救い主イエスさまが誕生されたときの様子を知りました。

今日はこのイエスさまがまだ赤ちゃんだったときのできごとを聖書から学びましょう。  
シメオンという名前のおじいさんがいました、シメオンさんは心から神様を礼拝している人で、長い間、神様のために働いてきました。

シメオンさんは、旧約聖書に書かれているイスラエルの長い歴史（神様によって最初に造られた人アダムとエバの誕生、二人が神様に罪を犯したこと、しかし神様は人を救うことを計画してくださったこと、

ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ、モーセ、ダビデの信仰の歩みや、バビロニアという国の奴隷となる時代もあったこと等)を知っており、神様が救い主を送ってくださることを信じて、まだかまだかと待っている人でした

#### ・ 神様からシメオンさんへの言葉

「あなたは主が遣わすメシア（救い主）に会うまでは決して死なない」

#### ・ ついにシメオンさん救い主イエスさまに会う

シメオンさんが神殿に入ると、赤ちゃん（イエスさま）を抱いた若い夫婦（マリアとヨセフ）が目にとまりました。

シメオンさんはこの若い夫婦が連れていた赤ちゃんを抱き、たくさんの人が長い間待っていた救い主に今この私がお会いできたと、嬉しくなって神様を賛美しました。

「主よ、今こそあなたは、お言葉どおりこの僕を安らかに去らせてくださいます。

わたしはこの目であなたの救いをみたからです。

これは万民のために整えてくださった救いで、

異邦人を照らす啓示の光、

あなたの民イスラエルの誉れです。」

#### ・ 今を生きる私たちは・・・

聖書に登場する場所は今のイスラエルを中心とした地域なので、日本の国に住んでいる私たちは関係ないと思う人がいるかもしれません。しかし、シメオンさんの賛美した言葉の最後に「異邦人を照らす啓示の光」とあります。

この異邦人とはイスラエル以外の国々の人のことで、すべての人の救い主でいて下さることを表しています

神様が、私たちの罪を赦すために救い主イエスさまを地上に送って下さったことを感謝しましょう。

救い主イエスさまを信じて、神様と共に歩むことが出来るということは、“何にも代えることができない喜び”です

（お祈り）

父なる神さま。シメオンさんの経験した出来事とおして、イエスさまが真の救い主であることを知ることができました。

わたしたちも、神さまを信頼して共に生きて行けますようお守りください。

主イエス・キリストのみ名によってお祈りします。アーメン

※ 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂 2 階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

22、よろこべや（こどもさんびかをお用ください）